



おすすめの本 ていがかくねん

ほん よ
本を読むのは、ぼく。本を読むのは、わたし。だから、読む
ほん き
本を決めるのも「じぶん」でできるようになりたいね。読ん
でおもしろかった本を、お友だちやおうちのひとに紹介し
て、ほん わ
本の輪をひろげていきたいね。

😊 よみきかせ



よみもの



むかしばなし



かがく



♡ ところ



あめだま



ペク・ヒナ/作 長谷川義史/訳 ブロンズ新社

いつも、ひとりぼっちであそんでいる、ぼく。ある日、ビー玉みたいな色とりどりのあめだまを手にいれた。ひとつぶなめると、とつぜん、ふしぎな声が聞こえてきて……この声、だれの声？魔法のあめだま？

E7

すざかとしょかん



おおかみのおなかのなかで

バーネット/文 クラッセン/絵 なかがわちひろ/訳 徳間書店

おおかみに食べられてしまったねずみ。ところが、おおかみのおなかのなかには、あひるがすんでいました！ もうその世界にはもどりたくない、というあひる。ねずみもいっしょにくらしてみること……。

Eト

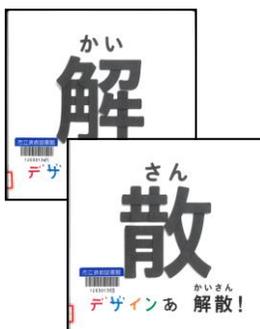


はじめてのオーケストラ

佐渡裕/原作 はたこうしろう/絵 小学館

小学校にあがった女の子が、はじめて演奏会につれていってもらう。おかあさんといっしょにコンサートホールにはいっていくと……世界的な指揮者・佐渡裕が手がけた親子でたのしむ「第九」コンサートの絵本。

Eシ



デザインあ ^{かいさん} 解散！

「デザインあ 解散！」制作チーム ポプラ社

ぼくたち、わたしたちのまわりにあるものをぶんかいしてならべてみたよ。どこにでもあるものだけど、くふうしてならべてみると……あ！ 子どもたちの「デザインの思考」を育む教育バラエティ番組の絵本。

757オ



豆わたし



上嶋常夫/原案 おおたにみねこ/文 岡田潤/構成・絵 岩崎書店

天音村のじんじろうと天流村のねね。ふたりの村は、川の水をめぐっていがみあっていた。「豆わたし」で、あらそいをとめようと決心したが……。心と知恵を育む、創作民話絵本。おはしの持ちかた、使いかた解説つき。

E1



りんご畑の12か月



松本猛/文 中武ひでみつ/絵 講談社

ぼくのおじさんは、りんごのうか。おいしいりんごをつくるため、冬でも、夜があけるまえから、はたらいているんだって。りんごばたけの1年を、おじさんがてがみでおしえてくれたよ。巻末に農作業の解説もあります。

E2



さとやまさん



工藤直子/文 今森光彦/写真 アリス館

わたしたちが住むまちと、大きな山のあいだにある丘や林や田んぼ、「さとやま」。ひとと自然がいっしょにつくったさとやまだから「さとやまさん」とよんで、なかよくしよう。楽しい言葉と、美しい写真の、科学の絵本。

E7



たつたさんびきだけのいけ



宇治勲/文と絵 PHP 研究所

カメとさかなとおたまじゃくしがすんでいる小さな池。おたまじゃくしは、自由に水からあがってひなたぼっこのできるカメをうらやんで、カメをなかまはずれにしますが、ある日、カエルのすがたになって……。

E⁷



おおかみのこがはしてきて



寮美千子/文 小林敏也/画 ロクリン社

「おおかみのこがはしてきて、こおりのうえで、つるんところんだ」「ねえ、どうして？」アイヌに伝わるはやくちことばをもとにかかれた絵本。おとうさんと子どもの役になって、ふたりでかけあいで読んでみましょう。

E⁰



手であそぼう ゆびであいうえお

田中ひろし/文 せべまさゆき/絵 ほるぷ出版

「あ」から「ん」までのゆびもじが、楽しい絵本になったよ。じぶんのなまえを、ゆびでやってみよう。できるようになったら、つかってみよう。いつか、手話で話せるようになったらいいね。巻末に指文字の一覧表つき。

E^ホ